

戦争社会学研究会 2018 年度第 3 回例会(関西)

(共催・日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)「現代の戦争研究と総力戦研究とを架橋する学際的戦争社会学研究領域の構築」)

小林啓治『総力戦体制の正体』(柏書房、2016年)

合評会



【評者】 江島尚俊(田園調布大学)

野上元(筑波大学)

【司会】 一ノ瀬俊也(埼玉大学)

日時:2018年10月21日(日)14:00-17:00

場所:京都女子大学 Y校舎 Y201

京都女子大学までのアクセスは、初めての方は京都駅八条口と河原町から出ているプリンセスラインという赤いバスを利用するのが便利です。終点が錦華殿やBC

校舎正門のあるキャンパスの中心部です。[http://www.kyoto-](http://www.kyoto-wu.ac.jp/access/index.html)

[wu.ac.jp/access/index.html](http://www.kyoto-wu.ac.jp/access/index.html)

* 参加自由・入場無料

問合せ先:戦争社会学研究会事務局

(戦争社会学研究会 HP 問合せフォームよりご連絡ください)

<http://scholars-net.com/ssw/contact-us>

【プログラム】

13:30 開場

14:00 開始

14:00-14:10 開会挨拶と登壇者紹介など(西村明、当会会長)

14:10-14:50 江島さんコメント

14:50-15:30 野上さんコメント

15:30-15:45 休憩

15:45-16:15 著者・小林啓治さんからのリプライ

16:15-17:00 全体討論

17:00 閉会挨拶(野上元、科研代表者)